



IT導入補助金を活用した業務効率化

普段、パソコンで使っている入力機器「マウス」は、コードのついた形がネズミのように見えることからそう呼ばれるようになりました。では、マウスの移動距離を表す単位は何かご存じでしょうか。「ミリ」でも「ドット」でもなく、なんと「ミッキー」だそうです。「1ミッキーは約0.254ミリメートル」で、マイクロソフト社でマウスのドライバを開発したエンジニアが、ミッキーマウスを由来とした一種のジョークとして命名したという説が有力の様です。

今回のミニトークでは、「IT導入補助金」をご紹介します。IT導入補助金とは、中小企業や小規模事業者が生産性の向上を目的としたデジタル化やオンライン化に資するITツールを導入する際、その経費の一部を国が補助する制度です。

今年度のIT導入補助金は、新型コロナウイルス感染症の影響がある中で、生産性向上に取り組む中小企業・小規模事業者等を支援する内容です。また、インボイス制度への対応や企業間取引のデジタル化を強力に推進する内容となっています。支援内容も以下のとおり前年度から大きく拡充されました(図表1)。

(図表1)IT導入補助金の拡充内容(令和3年度補正予算)

インボイス制度導入への対応も見据えつつ、企業間取引のデジタル化を強力に推進。

会計ソフト、受発注ソフト、決済ソフト、ECソフトに補助対象を特化し、補助率を引き上げ

- ・補助率を通常の1/2から3/4に引き上げ(補助額5万円~50万円以下の場合)
- ・補助率を通常の1/2から2/3に引き上げ(補助額50万円超~350万円以下の場合)

クラウド利用料を2年分まとめて補助

昨今のITツールがクラウド化していることを踏まえ、最大2年分のクラウド利用料を補助。

PC・タブレット、レジ・券売機等の購入を補助対象に追加

- ・PC・タブレット等については、補助上限額10万円、補助率1/2で支援。
- ・レジ・券売機等については、補助上限額20万円、補助率1/2で支援。

上記の拡充内容については「デジタル化基盤導入類型」と定義され、中小企業・小規模事業者に、インボイス制度への対応等、デジタル化を推進していくための会計ソフト・受発注ソフト・決済ソフト・ECソフトの導入費用に加え、PC・タブレット、レジ・券売機等の導入費用に対しても補助する内容となっています(図表2)。

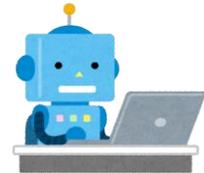
(図表2)	令和3年度補正予算 (デジタル化基盤導入枠)				【参考】令和元年度補正予算 (通常枠)	
	デジタル化基盤導入類型		複数社連携IT導入類型		A類型	B類型
補助額	ITツール	PC等	レジ等	a.デジタル化基盤導入類型の 対象経費 ⇒左記と同様 b.上記a以外の経費※ ⇒補助上限額は50万円× 参加事業者数、補助率は2/3	30万円~ 150万円未満	150万円~ 450万円以下
補助率	5~50 万円以下	50万円超 ~350万円	~10万円 ~20万円	[1事業あたりの補助上限額は、 3,000万円{(a)+(b)}及び事務費・ 専門家費]		
対象経費	ソフトウェア購入費、クラウド利用費(クラウド利用料2年分)、 ハードウェア購入費、導入関連費 ※上記a以外の経費に含まれるクラウド利用料は1年分 【複数社連携IT導入類型のみ】事務費・専門家費				ソフトウェア購入費、 クラウド利用費(クラウド利用料1年分)、 導入関連費	

◆ ITツールの導入で例えば何ができる？

◇ RPAツールを活用することによるルーチンワークの自動化ができます。

「RPA（ロボットによる業務自動化）ツール」を導入し、業務の処理手順をあらかじめ登録することで、いままで人が行ってきた定型作業を自動化することができます。

現在、様々な分野で RPA ツールによる業務自動化、労働環境の改善が進められています。



◇ グループウェアを導入し社内の情報共有を円滑にできます。

グループウェアは、社内の情報共有やコミュニケーションを円滑化するツールです。

電子メール機能、スケジュール管理機能、ワークフロー機能、会議室予約機能、ファイル共有機能などの機能が統合されています。



◇ 顧客管理システムで顧客満足度の向上、売上増を図ることができます。

CRM（顧客管理）ツール、SFA（営業支援）ツールを使えば、顧客情報や営業活動を「見える化」し、人脈や営業ノウハウなどを社内で蓄積・共有することができます。これにより、顧客満足度の向上や売上増につなげることができます。



◇ テレワーク環境の整備により在宅勤務や働き方改革を進められます。

WEB 会議システムや、遠隔からパソコンを安全に利用できるシステムを導入することで、外出先や自宅でも仕事のできるテレワーク環境を整備することができます。

新型コロナウイルスなどによる在宅勤務や、柔軟な働き方に対応した労働環境づくりを進めることができます。



ITツールの導入は生産性の向上から社内環境の整備まで幅広い分野で業務の効率化が図れます。

IT導入補助金の詳細については、サービス等生産性向上IT導入支援事業事務局ポータルサイト (<https://www.it-hojo.jp>) をご確認ください。



ITツールの導入、IT導入補助金のご相談は岐阜信用金庫へ

岐阜信用金庫ではリコージャパン（株）等のIT支援事業者と連携し、お客さまにとって最適なITツールの提案から、IT導入補助金申請支援まで一貫したサポートを行っております。

ITツールの導入、IT導入補助金にご興味のある方は、是非、お近くの店舗またはお取引店舗までご相談ください。